

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9386 URL https://www.n-concept.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部長 (氏名) 若園 三記生 (TEL) 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	9,126	△4.1	1,145	△24.8	1,126	△25.4	798	△24.6
2019年12月期第3四半期	9,515	5.6	1,522	7.9	1,510	7.4	1,059	8.3

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 745百万円(△24.6%) 2019年12月期第3四半期 988百万円(1.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	57.58	—
2019年12月期第3四半期	76.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	18,923	11,185	59.1
2019年12月期	18,971	10,856	57.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 11,185百万円 2019年12月期 10,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年12月期	—	15.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社業績に及ぼす影響を現段階において合理的に算出することが困難であることから、前回発表(2020年8月13日)に引き続き未定としております。連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期3Q	13,868,500株	2019年12月期	13,868,500株
2020年12月期3Q	679株	2019年12月期	648株
2020年12月期3Q	13,867,825株	2019年12月期3Q	13,867,948株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社業績に及ぼす影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	増減額 (増減率)
売上高 (千円)	9,515,396	9,126,828	△388,568 (△4.1%)
営業利益 (千円)	1,522,666	1,145,786	△376,880 (△24.8%)
経常利益 (千円)	1,510,365	1,126,641	△383,723 (△25.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	1,059,577	798,537	△261,040 (△24.6%)
保有基数 (3月末時点)	8,042本	8,243本	201本 (2.5%)
稼働率 (3ヶ月平均)	75.1%	70.7%	△4.4%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大が個人消費の足枷となり、内需の回復ペースは鈍化しております。他方、外需においては、中国が新型コロナウイルスの感染拡大前の水準に回復したほか先進国にも持ち直しの動きがみられ、輸送用機械、電子部品・デバイスなどの輸出が復調しつつあることから製造業の生産活動は上昇傾向にあります。

世界経済に目を向けますと、米国では自動車・部品の生産が足許で減速傾向にあるものの、製造設備の稼働率は上昇が続いており、雇用も回復していることから、企業マインドは改善してきております。また、欧州では、新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加してサービス業PMIは50を下回る水準へ低下しているものの、製造業の生産と輸出が新型コロナウイルスの感染拡大前の9割程度の水準まで回復しており、回復傾向が継続しております。一方中国では、新型コロナウイルス禍において世界に先駆けて経済活動を再開して景気が回復しており、海外の経済活動再開や情報通信機器需要の拡大を背景に、輸出は前年を上回る水準に持ち直しております。

当社グループの事業におきましても、新型コロナウイルス感染症の拡散防止策として様々な国でロックダウンが実施されて移動が制限されたこともあり、第2四半期にかけて取扱本数が大幅に減少する要因となりましたが、当社グループとしては、このような厳しいビジネス環境でも第2四半期までの遅れを取り戻すべく国内・海外を問わず全社を挙げて営業活動に邁進し、経済活動を早期に再開した地域向けの輸出取引の獲得に注力しました。加えて、高圧ガスビジネスの当第3四半期連結累計期間の売上高が373百万円（前年同期は301百万円）に伸びていることもあり、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,126百万円（前年同期比4.1%減）を確保しました。さらに費用面では、タンクコンテナの地域別の需要と供給のアンバランスの調整費用や、更なる事業の拡大を展望して前年度に実施した設備投資やタンクコンテナ保有基数の増大などに伴い減価償却費が増加しているものの1,145百万円の営業利益を計上し、前年同期末時点と比較した減少幅も24.8%となり、第2四半期末時点の29.8%より圧縮することができました。また、経常利益においては、為替差損を5百万円計上するなか1,126百万円の利益を確保し、前年同期末時点と比較した減少幅も25.4%となり、第2四半期末時点の28.0%より改善しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ48百万円減少（0.3%減）し、18,923百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ274百万円増加（4.3%増）し、6,686百万円となりました。売掛金が20百万円、その他流動資産が409百万円減少したものの、現金及び預金が703百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ322百万円減少（2.6%減）し、12,237百万円となりました。建物及び構築物（純額）が121百万円、タンクコンテナ（純額）が165百万円、無形固定資産が37百万円減少したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ195百万円減少（6.1%減）し、3,010百万円となりました。短期借入金が142百万円、リース債務が224百万円、賞与引当金が39百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が151百万円、未払法人税等が254百万円、その他流動負債が190百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ182百万円減少（3.7%減）し、4,727百万円となりました。退職給付に係る負債が9百万円、その他固定負債が13百万円増加したものの、長期借入金が119百万円、リース債務が86百万円減少し

たことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加（3.0%増）し、11,185百万円となりました。利益剰余金が382百万円増加した一方、為替換算調整勘定が53百万円減少したことが主な要因です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、2020年6月19日に開示しておりますとおり、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、合理的な業績予想を算出するのが困難な状況であることから、2020年2月13日に公表した2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の業績予想を一旦取り下げ、「未定」といたしました。

当第3四半期連結会計期間においては、景気の回復が顕著な中国をはじめとした東アジア地域においては荷動きが活発化している一方、米国では感染者が一千万人を超え、欧州でもフランス、ドイツ、イギリスにおいて二度目のロックダウンが実施されるなど、本格化する冬に向けて新型コロナウイルス感染症が再拡大することによる影響が強く懸念されております。

感染症が再び拡大している欧米を中心に経済活動の先行きが不透明な状況が依然として続いていることから、本日時点においても引き続き業績予想を「未定」のままとしております。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,273,789	4,977,764
売掛金	1,412,046	1,391,886
その他	727,107	317,496
貸倒引当金	△1,006	△830
流動資産合計	6,411,937	6,686,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,868,429	1,746,762
タンクコンテナ(純額)	7,503,482	7,338,068
土地	2,195,963	2,195,963
その他(純額)	432,724	433,251
有形固定資産合計	12,000,599	11,714,045
無形固定資産	286,131	248,175
投資その他の資産	272,854	274,867
固定資産合計	12,559,585	12,237,088
資産合計	18,971,523	18,923,405
負債の部		
流動負債		
買掛金	755,049	753,279
短期借入金	219,000	361,000
1年内返済予定の長期借入金	848,410	696,740
リース債務	501,325	725,924
未払法人税等	354,791	99,940
賞与引当金	36,081	75,942
株主優待引当金	2,859	—
その他	488,303	297,864
流動負債合計	3,205,820	3,010,691
固定負債		
長期借入金	1,931,382	1,811,665
リース債務	2,684,644	2,598,510
退職給付に係る負債	126,985	136,929
その他	166,287	180,184
固定負債合計	4,909,299	4,727,289
負債合計	8,115,119	7,737,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,134,781	1,134,781
資本剰余金	1,060,941	1,060,941
利益剰余金	8,680,514	9,063,016
自己株式	△534	△581
株主資本合計	10,875,702	11,258,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,047	△1,158
為替換算調整勘定	△18,252	△71,574
その他の包括利益累計額合計	△19,299	△72,733
純資産合計	10,856,403	11,185,424
負債純資産合計	18,971,523	18,923,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,515,396	9,126,828
売上原価	6,876,041	6,922,222
売上総利益	2,639,354	2,204,605
販売費及び一般管理費	1,116,688	1,058,819
営業利益	1,522,666	1,145,786
営業外収益		
受取利息	11,066	5,257
為替差益	15,379	—
受取家賃	5,346	7,197
受取保険金	925	13,986
受取補償金	126	75
補助金収入	1,440	25,422
その他	1,956	2,402
営業外収益合計	36,241	54,342
営業外費用		
支払利息	48,113	51,439
業務委託費用	—	10,050
為替差損	—	5,265
その他	428	6,730
営業外費用合計	48,542	73,486
経常利益	1,510,365	1,126,641
特別利益		
固定資産売却益	3,304	966
特別利益合計	3,304	966
特別損失		
固定資産売却損	409	49
固定資産除却損	4,727	1,883
特別損失合計	5,137	1,932
税金等調整前四半期純利益	1,508,532	1,125,675
法人税等	448,955	327,137
四半期純利益	1,059,577	798,537
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,059,577	798,537

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,059,577	798,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△279	△110
為替換算調整勘定	△70,589	△53,322
その他の包括利益合計	△70,869	△53,433
四半期包括利益	988,708	745,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	988,708	745,104
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルスの影響につきましては、2020年12月期の一定期間にわたり継続するとの仮定のもと会計上の見積りを行っております。しかしながら、新型コロナウイルスによる影響は不確定要素が多く、収束時期および経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。